

## 春近発電所大規模改修工事に伴う地域共生促進事業

### 1. 補助事業の目的

春近発電所大規模改修工事に関する地域の理解・協力を得る観点から、同発電所の敷地を一般に開放することとして整備を進めている。その一環として、産業遺産としても価値がある撤去した水車発電機の展示及び水力発電を学べる映像設備の整備により、水力発電並びに本工事への理解促進を図ることを目的とする。

### 2. 補助事業の概要

#### (1) 事業者名

長野県企業局

#### (2) 事業期間

令和7年5月29日～令和8年2月27日

#### (3) 対象地域

長野県伊那市東春近

#### (4) 対象地域の状況

本事業の対象地域である伊那市は二つのアルプスに抱かれ、その間を流れる天竜川や三峰川沿いには平地が広がり河岸段丘もみられる。暴れ天竜の異名を持つ天竜川の支流の一つである三峰川は度重なる洪水被害をもたらしていたため、三峰川総合開発によりかんがい用水の安定供給や水力発電による電力安定供給が図られた。

#### (5) 対象発電所

水系・河川名 一級河川 天竜川水系 三峰川

発電所名 春近発電所

事業者 長野県企業局

出力 25,600kW

### 3. これまでの取り組み状況と課題

発電所をはじめとする地域の各種施設が連携し、学び・研修の場等に活用されていくことを目的に天竜川上流地域連携協議会が地元自治体を中心に設置され、令和3年度から令和6年度までに計6回開催された。その協議会の中で、伊那市による「自転車利用推進計画」と県企業局の発電施設を連携させることで観光と環境学習への活用を検討してきた。

一方、県営最大の春近発電所は一般に開放されていないため、発電施設を学べる機会が限定されていたことが課題であった。

### 4. 実施概要

大規模改修工事中の春近発電所敷地内に水力発電の仕組みなどを身近に学べ、再生可能エネルギーに興味関心を持てる施設整備を目的とした地域共生促進事業を2カ年計画で行った。

令和6年度は、敷地内の展示棟に映像設備（三面プロジェクター）を整備するとともに、水力発電や環境について学習するための動画素材として冬季の状況を撮影した。ここでは、三面に映像を投影することで、より迫力のある映像となる工夫をしている。

令和7年度は、水力発電や環境について学習するための動画素材として夏季及び秋季の状況を撮影するとともに、撮影した映像素材の編集作業やより水力発電の仕組みを多くの来場者に理解して貰えるように3DCGを活用した映像の制作を行った。併せて、大規模改修工事で撤去した水車発電機をモニュメント化し、固定子、回転子、水車、入口弁の計4点の設置まで完了した。

補助事業期間終了後に、残りの水圧鉄管の設置及び展示物の上塗り塗装、機器説明看板の設置及び展示物周辺の外構整備を令和8年3月までに完了する見込みである。



キーメッセージとなる動画の一部



映像データ、納品用HDD



3面映像完成品



モニュメント設置状況

### 5. 得られた効果

伊那谷の豊かな自然をPRしながら水力発電の仕組みを分かりやすく解説するための学習動画を作成することができた。ここで、容易に見ることのできない発電所の設備については、3DCGなどを活用することで、年齢問わず分かりやすい映像とした。また、春近発電所で使用していた水車発電機をモニュメントとして敷地内に設置することができた。

地域住民、学生や観光客に、豊かな自然とともにある発電所を迫力のある映像とともに見てもらうことで、水力発電及び本工事への理解のみならず地域の魅力を発見することができ、観光客の増加や地域の認知度向上に貢献できると考える。